

研修会報告

H30年10月11日(木)

文責：一般検査部門 佐藤美砂

研修会テーマ「尿中赤血球について学ぶ」

開催日時：H30年10月6日(土) 13:30~16:40

会場：東北医科薬科大学病院 大会議室

司会：仙台エコー医療療育センター 佐藤美砂 技師

講演1：座長 仙台市立病院 白井竜二 技師

「糸球体型・非糸球体型の報告例」

国立病院機構 仙台医療センター 臨床検査科 大橋玲央 技師

講演2：座長 仙台循環器病センター BML 栗原幸孝 技師

「尿中に出現する赤血球の形態の観方と考え方について」

登米市民病院診療技術部臨床検査室 高橋治 技師

講演3：座長 仙台エコー医療療育センター 検査室 佐藤美砂 技師

「血尿について考えるべきこと」

KKR札幌医療センター 臨床検査科 太田惣 技師

生涯教育点数：専門20点

参加者：会員31名、実務委員7名(内講師2名)、県外講師1名

[内容]

講演1：仙台医療センターでの糸球体型・糸球体型赤血球の報告の仕方や報告の際の注意点などについて。

講演2：血尿が出現する疾患や形態鑑別方法、報告方法など血尿の観方を総合的にとらえた内容。患者背景・診療科・臨床医が何を求めているかなどしっかり見極めて対応することが大切であるということ。

講演3：血尿が出る様々な機序、異型細胞の鑑別方法、蛋白尿と血尿、など血尿を観ることの大切さについて。

今回の研修会は、尿中赤血球にフォーカスを当て、前回の研修会でご協力をいただいたアンケート結果を参考に企画いたしました。

血尿を呈する原因は様々であることを理解し、患者や臨床医に有用な結果を報告できるように努めることが大切であると再認識いたしました。

今回もアンケートにご協力をいただきました。次回の研修会の企画に参考にさせていただきます。

以上です。